

JIM-NET 年次報告書

Annual Report **2020**



JIM-NET
الشبكة الطبية ايبائية العراقية

長引くコロナ禍でも、 イラクやシリアへの 心の通う支援を続けます

代表理事 鎌田 實



新型コロナウイルスの爆発が世界中で止まらない一年となりました。目に見えないウイルスとの闘いが残念ながらまだまだ続きそうです。JIM-NETの活動も今までにない対応が続ки、僕も事務局や海外担当のスタッフたちと沢山話し合いをしてきました。

でもこんな大変な時だからこそ、イラクやシリアの子どもたちを守りたい、そんな想いを強くする1年でもありました。

イラクでは6月に感染者が急増して、現地から窮状を訴える動画がいくつか送られてきました。1台で4人のコロナ患者を同時に運ぶ救急車やそれに同乗する個人防護具が不完全な医療スタッフたちの姿に、これは本当に大変な事態になっていると思いました。そこで僕が代表を務めるもう一つのNPOの日本チェルノブイリ連帯基金(JCF)との共同クラウドファンディングで、不足するマスクやアルコールジェルなどを購入する支援金を募ることにしました。JIM-NETとJCFでのクラウドファンディングは初めての試みでした。日本とイラクのスタッフたちが力を結集して、目標だった140万を大きく上回る約290万円の寄付が集まりました。本当にありがたいことです。イラクの医師たちからは続々と感謝のメッセージが届きました。また、1月にはコロナとインフレに苦しむシリア国内に医薬品をするためにクラウドファンディングを立ち上げました。紛争から10年が経過するシリアを忘れてはいけません。僕たちは現地からの要請に応えられるように、色々な人から応援をいただきながら、約185万円が集まりました。スタッフのチームが3月にシリア北東部に渡航し、国内の難民キャンプや新型コロナ治療の専門病院へ医薬品や医療物資を届けました。この地域に関しては、「生活はここ10年で一番苦しい」という声を沢山聞いたそうです。

チョコ募金は例年より数を減らし、10万個に設定しました。コロナの状況を考えた末の目標設定数でした。しかしお申し込みが殺到し、六花亭のご協力で急遽2万個を追加することができました。スタッフたちと嬉しい悲鳴をあげました。チョコ募金だけではありません。一般募金も昨年度より約2,000万円も増えました。金額が増えたことは勿論喜ばしいことですが、寄付の件数も約2倍になったのです。とても驚きました。コロナ禍で不安を抱える人も多い中、イラクやシリアのために心を寄せてくださってる方がこんなにもいらっしゃるのかと思うと、気が引き締まる思いです。

バグダードとバスラはアルビル以上にコロナの状況が悪く、アブサイードとイブラヒムのベテランスタッフは特別外出許可を取って、病院でがんの子どもたちのケアにあたってくれました。バスラは子どもの平和と生存のための童話館基金が長年、医薬品支援をしてくれています。バスラやその周辺には遠くから通う子どもたちも多い病院です。来年度は状況を見ながらバスラへの渡航を検討し、支援の質を高めていこうと考えています。

福島支援事業はコロナ禍の影響を受けながらも、様々な活動の支援をすることができました。今後もコロナ禍の状況に合わせた支援を続けたいと思っています。

予定していたサポーターや支援者の皆様との交流の場を持てなかったことが、とても残念です。開催可能な時期になったら、皆様と直接話しながらの交流の場を作りたいと考えています。

来年度もコロナの状況がどうなるかわかりません。それでも僕たちは、イラクやシリアの子どもたちや難民キャンプで生活する人たちに医療や医薬品を届けることができるよう、チーム力を高めて現場の要請に応じていきます。どうぞご支援の程、よろしくお願いいたします。

組織体制 (2021年3月現在)

【役員】

代表兼事務局長	鎌田 實	理事	今井高樹
副代表	池住義憲	理事	神谷さだ子
事務局次長	鎌仲ひとみ	監事	村山文彦
理事	井下俊	顧問	谷山博史

【スタッフ】

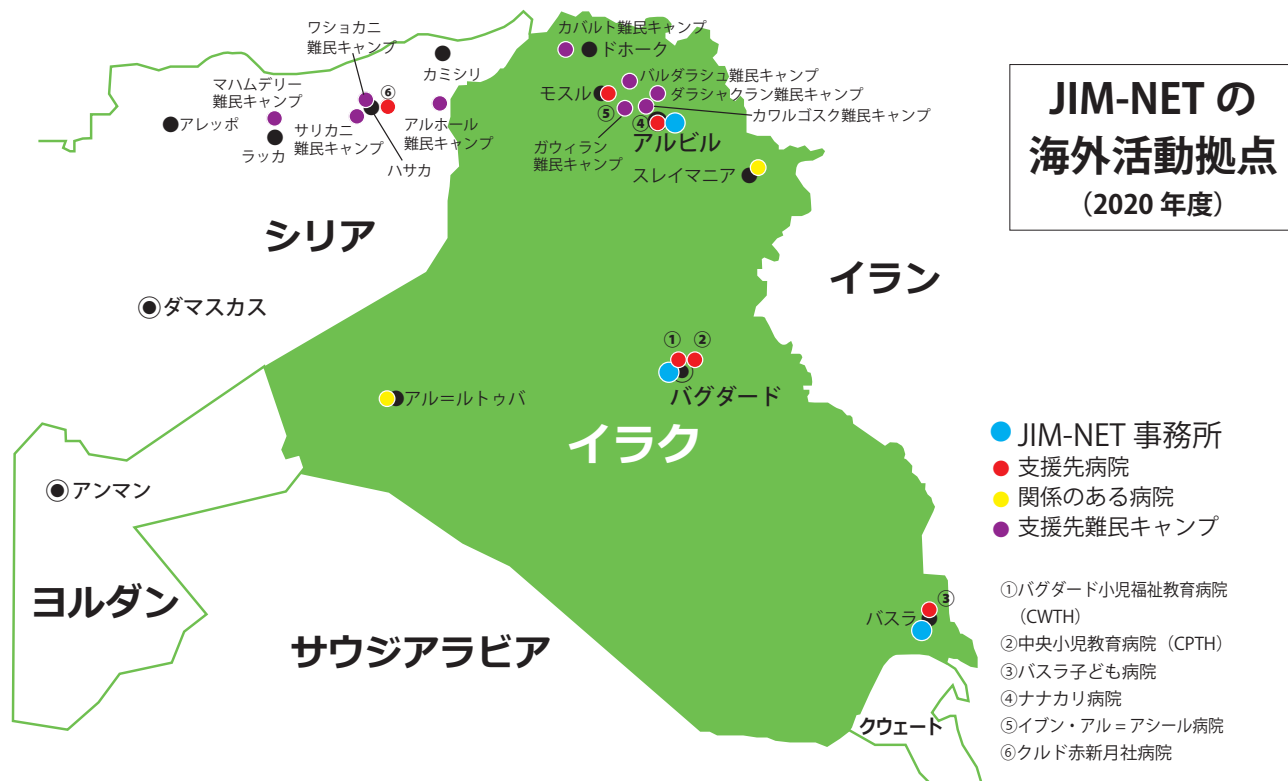
東京事務所：9名 アルビル事務所：1名
現地スタッフ：アルビル7名、バグダード2名、バスラ1名

【サポーター】

ラナサポーター*：520名 サポーター**：947名

* ラナサポーター：年会費1万円。年会費のうち3千円が事務局の運営に充てられるほか、7千円が現地での活動に充当されます。

** サポーター：年会費3千円。事務局の運営に充当されます。



JIM-NETのあゆみ

1990年代半ば、イラクの子どもたちの間で、がん・白血病の発症率が急激に増加し始めました。1991年の湾岸戦争時に、米軍が使用した劣化ウラン弾の放射能の影響だと思われます。しかし、湾岸戦争後の経済制裁による抗がん剤や医療機器の輸入制限のため、適切な治療が受けられずに、助かるはずの多くの子どもたちが命を失っていきました。

2003年のイラク戦争で、米軍は再び劣化ウラン弾を使用しました。イラクの病院は破壊され疲弊し、保健行政も機能不全に陥り、増え続ける小児がん・白血病の子どもたちにとって危機的な状況でした。2004年6月、来日したバスラ産科小児科病院のジャンン医師と日本の支援者たちの間で、子どもたちの窮状を救うための話し合いがもたれました。そして、より効率的で継続的な支援体制の確立をめざし、NGO、市民グループ、日本とイラクの医師たちが「日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)」を立ち上げました。以降、任意団体として7年あまり活動した後、2012年2月1日、特定非営利活動法人 (NPO 法人) となりました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後には、

宮城県石巻市を中心に、医療支援や仮設風呂の提供を行いました。地震と津波で福島第一原子力発電所の事故が起きた福島県にて、放射能の被害を最小限に留めるべく、除染や保養の支援を継続して行いました。また、2012年4月からは、紛争が激化したシリアから大量の難民が発生したことを受け、イラクとヨルダンにて緊急支援を開始しました。

2019年度には、イラクで初となる小児がん総合支援施設 (通称：JIM-NET ハウス) がアルビルのナナカリ病院敷地内に完成し、がんの子どもたちへの教育サポート、患者家族からの相談受付、宿泊場所の提供など心理社会的サポートが本格的に開始されました。

JIM-NET は、イラクの小児がんの子どもたちが自国できちんと治療を受けられるようになり、先進国並みの生存率となるように支援を続けます。福島支援活動も継続し、放射能汚染から子どもたちの健康を護る活動を行う団体への支援を実施していきます。また、シリア難民支援とイラク国内避難民支援にも継続して取り組んでいきます。

JIM-NET の活動「3つの柱」



小児がん支援



2020年度は新型コロナウイルスの感染がイラクにおいても全土に拡大し、度々起こる政変や治安の悪化とは異なる緊急対応に迫られる1年となりました。感染が拡大する前の2020年3月から約1ヶ月半、イラク全土で外出禁止令の措置が取られ、事業地ではスタッフの出勤も制限される事態が生じました。

院内学級や難民キャンプへの入域も制限される中、5月にはその制限が解除され支援活動も再開したのも束の間、6月から一気に感染が拡大し、9月下旬をピークに大きな感染の山を迎えました。中央政府とクルド自治区では感染状況に応じて異なる措置が取られましたが、アルビル、バスラ、バグダードの現地スタッフは各現地当局から移動の許可を取り、一部を除き概ね予定していた支援を実施することができました。

2021年に入り、2月初旬より再び大きな感染の波が押し寄せており、小児がん患者や患者家族にとっては健康不安や経済の悪化が続くことが見込まれ、当分厳しい状況が続くことが予想されます。

また、10月には2019年10月に行われた政府に対する大規模なデモから一年となったバグダードで再び数千人規模の抗議デモが行われ、治安部隊とデモ参加者が衝突しました。

バスラやナジャフでも同様にデモが行われ、昨年からのイラク各地で起きている一連の衝突でこれまでに約600人が死亡、約3万人が負傷しています。

5月にムスタファ・カーズィミー首相が就任しましたが、重要な政策の一つでもある若者の失業率の改善も見られず、大きな改革は進んでいない状況です。

こんな活動をしました

▶ 医薬品支援・消耗品支援

3地域の小児がん専門病院に抗がん剤を中心とした医薬品、医療品を支援しました。

バグダード	48,477 米ドル
バスラ	126,005 米ドル
アルビル	44,447 米ドル

*医薬品は、子どもの平和と生存のための童話館基金様、株式会社カタログハウス様、生活協同組合パルシステム東京様、連合「愛のカンパ」様からもご支援いただきました。



JIM-NETハウスの院内学級の様子

▶ JIM-NET ハウス

2年目を迎えた小児がん総合支援施設「JIM-NET ハウス」では、小児がん患者とその家族への心理社会的な支援を実施しています。1階では院内学級やアート活動、2階では患者家族相談窓口、3階では宿泊施設の各サービスを提供しています。

【教育支援】3人の先生が中心となり、患者の学習サポートを行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で約半年間閉鎖となった今年度は、先生が病室で個別対応をしました。再開後は感染症対策を強化し、1日最大15名の生徒を受け入れて実施しました。

【青少年活動】絵画や工作、音楽の活動に加え、子どもたちの体調を考慮しながら屋外での活動を取り入れました。

【宿泊者の受け入れ】病院で治療を受ける患者家族の宿泊を受け入れています。台所や洗濯機も完備され、長期滞在にも対応しています。今年度の利用者数は延べ3,443人、1日平均利用者数9.44人、平均稼働率は49%でした。





先生たちで「シャヤ人形」作成中

院内学級が閉鎖されていた期間に、先生たちとスタッフが協力し、「シャヤ人形プロジェクト」を立ち上げ、クルドの民族衣装を纏った人形を制作・販売し、活動費に繋げることができました。（シャヤ人形の「シャヤ」はプロジェクトリーダーのシャヒン先生のニックネームから名づけられました。）

▶ 貧困患者支援

貧困患者に対し、医薬品購入費や病院までの交通費、必要に応じて生活必需品の支援を実施しました。

アルビル 431 名

（地元の患者 182 名・国内避難民及びシリア難民 142 名）

バグダード 166 名

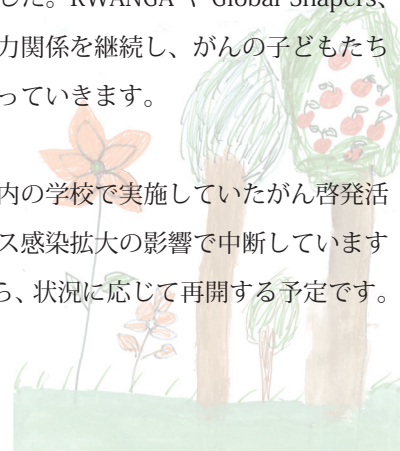
バスラ 178 名

また、患者情報のデータ管理を強化し、迅速かつ効率的な貧困患者への支援に繋がっています。経済的な負担が大きく、支援を必要とする患者家族が多いことから昨年度より予算を 50% 増額しました。アルビルでは、医薬品会社や個人によるご寄付で支援することができた患者数が、昨年度から約 4 倍に増えました。

▶ 「地域で支える」がんの子どもたちへの取り組み

小児がん支援を行なう現地 NGO「Kurdistan Save the Children」と連携して、JIM-NET ハウス内でクリスマスパーティーやその他イベントを開催したり、遠足にも行き、交流を深めることができました。RWANGA や Global Shapers、医学系大学の学生とも協力関係を継続し、がんの子どもたちを地域で支える活動を行っています。

※昨年度までアルビル市内の学校で実施していたがん啓発活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中断していますが、教育局と連携しながら、状況に応じて再開する予定です。



JIM-NET が関わる子どもたちを紹介！

マヤ・サンド・ハリール（10 歳）

急性前骨髄球性白血病（AML M3）を患うマヤは、シリアからの難民として 2013 年に家族とイラク・クルド自治区に避難してきた 10 歳の女の子です。現在は、家族とアルビル郊外のダラシャクラン難民キャンプに暮らしています。

マヤはとても元気でいつも遊びまわっている女の子でしたが、2020 年の終わりに白血病を患い、闘病の毎日を送っています。適合者がいなかったことからイラク国内では骨髄移植を受けることができず、どうにか海外で受けられるよう JIM-NET もサポートを続けています。



ラウィ・ケイフィ（11 歳）

アルビル出身のラウィは、急性リンパ性白血病（ALL）を患う 11 歳の男の子です。2019 年の 4 月にがんの診断を受け、今も治療を続けています。長らく学校に行けていないことから JIM-NET の院内学級にも参加しており、勉強も頑張っています。学びの傍らに絵を描いたりギターの練習もしたり、積極的に新しいことを始めようとしています。

まだまだ辛い治療が続きますが、JIM-NET も様々な面でサポートをして参ります。





暖かい日は外でアクティビティ



ロックダウン下でも先生たちが病室を訪問し、勉強を教えました

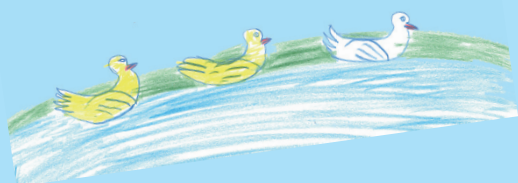


何を描いているのかな？



11月に院内学級を再開！最初は習熟度を測る小テストを行いました

J I M - N E T



ハウス この1年



ミニゲーム大会で身体を動かそう！



2020年度のチョコ缶を描いてくれたエリーン（右）とお姉さんのシーラン



2月の「国際小児がんデー」。先生たちが子どもたちにフェイスペイント



アルビル動物園への遠足。初めて見る大きな動物にみんなビックリ！

緊急支援



2020 年度前半は、新型コロナウイルス感染拡大のため、難民キャンプにおける支援も長らく中断が続きました。唯一、パートナー団体の協力で 5 月には、ダラシャ克蘭難民キャンプへの入域が許可され、粉ミルクの支援だけは早々に再開することができました。しかし、長期に及んだロックダウンによりイラク国内に暮らすシリア難民の多くも職を失い、シリアに戻る選択をする人々も多い年となりました。

2019 年秋のトルコ軍・シリア反政府軍による侵攻で混乱状態の続くシリア北東部では、西側諸国による経済制裁の影響や新型コロナウイルスの流行で生活状況がここ 10 年で最悪となり、支援の必要性が高い状態が続いています。

その中で、JIM-NET ではクラウドファンディングなどを通し、計 250 万円を超える医薬品や個人防護具をシリア国内に届けました。

またイラク各地の病院からの要請を受け、夏には新型コロナウイルスから医療従事者を守るため個人防護具支援を行いました。日本チェルノブイリ連帯基金(JCF)と協同でクラウドファンディングを募り、イラク国内 7 カ所の病院、難民キャンプのプライマリー・ヘルス・センターに 280 万円を超える支援を実施しました。



アルビルのプライマリー・ヘルス・センターに個人防護具を支援

こんな活動をしました

▶シリア難民キャンプ支援（イラク）

ダラシャ克蘭・シリア難民キャンプに対して 3,600 ドル分の乳糖不耐症用の特殊ミルク、おむつの支援と、妊婦のための葉酸支援を実施しました。また、妊産婦が情報交換を行い、手工芸を学べるワークショップを開催しました。

バルダラシュ・シリア難民キャンプに対して 2,800 米ドル分の葉酸やコンドームなど、家族計画に関連する医療物資支援を実施しました。カバルト・イラク国内避難民キャンプに対して 2,000 米ドル分の医薬品支援を実施しました。



バルダラシュ難民キャンプに医薬品を運ぶ JIM-NET スタッフたち

▶イラクの病院に対する個人防護具支援

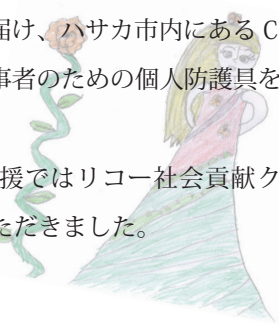
新型コロナウイルスによる医療崩壊を防ぐため、クラウドファンディングを通してイラク国内の 7 カ所の病院とプライマリー・ヘルス・センターに約 26,000 米ドル分の支援を実施しました。また、アルビル保健局に 3,000 米ドル分の新型コロナウイルス対策支援を実施しました。

▶シリア国内医薬品支援

2020 年 9 月にシリア・ハサカ県に位置するワショカニ・シリア国内避難民キャンプとハサカ市内の避難所に、6,000 米ドル分の医薬品支援を実施しました。

また、2021 年 2 月にはクラウドファンディングを通して、19,738 米ドル分の医薬品をワショカニ・シリア国内避難民キャンプ、サリカニ・シリア国内避難民キャンプ、アルホール難民キャンプ、マハムデリー・シリア国内避難民キャンプ、ハサカ市内の避難所に届け、ハサカ市内にある COVID-19 赤新月社病院に、医療従事者のための個人防護具を支援しました。

＊シリア国内医薬品支援ではリコー社会貢献クラブ・Free Will 様からもご支援いただきました。



福島支援



▶福島基金

福島支援の条件に合う活動や団体に対して、公募・推薦によって選抜し、支援を実行しました。

(2020 年度募集期間：2020 年 6 月 1 日～12 月 31 日)

2020 年度は、以下 7 団体に支援しました。(五十音順、法人格名を除く)

団体名	事業名	助成額
	事業概要	
どんぐりとやまねこ	ゆったりほっかいどうの夏休み 各種行事を含む子ども保養活動	¥100,000
ほっと悠	障害者施設でのお弁当作りなどの社会参加に関する事業	¥200,000
青空保育たけの子	福島の子どもたちを放射能から守る為に山形へ無料送迎事業 子ども保養活動	¥300,000
特定非営利活動法人 日本チェルノブイリ連帯基金	食品・環境放射能測定	¥300,000
みんなのデータサイト	食品・環境放射能測定	¥300,000
甲状腺がん支援グループあじさいの会	甲状腺がん患者・家族同士の交流や学習会を行う カフェ事業	¥300,000
ウィメンズスペース福島	福島原発事故後に増加しているDV被害者などの女性を支援するスタッフ育成のための基礎講座開催	¥300,000
	合計	¥1,800,000

2019 年度末に新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった 2 団体は、2020 年度に以下の活動を行いました。

- ◆ぐるっぷ未来：安定ヨウ素剤及び原子力災害啓発資料配布。
- ◆福島のこどもたち香川へおいでプロジェクト：コロナの影響で保養活動ができないため、15 周年記念団体紹介パンフレット作製。



広報・イベント

【刊行物】

- ・「JIM-NET 便り」4回発行
- ・「アニュアルレポート」1回発行

【主な開催イベント】

2020 年

6 月 28 日 「母なるシリア」を逃れて～シリア人スタッフ、リームが語るシリア支援（オンライン）

出演：リーム・アッバス、斉藤亮平、牧野アンドレ

9 月 21 日 「Piece for Peace ～世界の子どもたちと、共に育む未来に向けて」（オンライン）

出演：牧野アンドレ

（認定 NPO 法人 国境なき子どもたち・認定 NPO 法人 REALs・認定 NPO 法人 PIECES・JIM-NET 共催）

10 月 29 日 「コロナ禍の中東人道支援～イラク、シリア、パレスチナの現場から～」（オンライン）

出演：斉藤亮平、牧野アンドレ

（認定 NPO 法人 日本国際ボランティアセンター・NPO 法人 ピースウィンズ・ジャパン・JIM-NET 共催）

11 月 6 日 チョコ募金キックオフイベント「JUSPEACE!」（オンライン）

出演：サヘル・ローズ、鶴田能史、湯川れい子、堀江明子、斉藤とも子、鎌田實、斉藤亮平

12 月 1 日 新宿ベルク絵画展（～12月31日まで）



©Tadashi Kumagai

2021 年

2 月 13 日 「シリアを忘れない」特別イベント（オンライン）

出演：小松由佳、リーム・アッバス、斉藤亮平、牧野アンドレ



チョコ募金

毎年冬に、1口550円ご寄付してくださった方に、チョコレートをお礼としてプレゼントしている募金キャンペーンです。

2020年度は、コロナ禍の影響を考慮し、取り組み個数を10万個と減らして受付をスタートしましたが、お申込みが殺到し、急遽六花亭様のご協力を得て、2万個を増産いたしました。皆さまのご支援のおかげで、無事に12万個すべて終了することができました。温かいご支援をくださった皆さまに、心から感謝申し上げます。

①テーマ：『CHOCOLATE for PEACE』

②取組個数：六花亭様の協力により、12万個

③実施期間：2020年11月16日～2021年1月15日まで

◆チョコ募金運営協力（敬称略）

六花亭製菓株式会社 / 古茂田工業株式会社 / 有限会社山猫印刷所 / 社会福祉法人 川崎市社会事業団 KFJ 多摩はなみずき / 協働組合 JASMEQ / 柳原出版株式会社 / 筑波学院大学メディアデザインコース / SEO 株式会社



2021年度事業計画

海外事業

アルビル県を中心とした包括的小児がん患者支援

事業地：イラク・クルド自治区アルビル

対象者：約 4,000 名（JIM-NET ハウス滞在の患者家族含む）

期間：2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日

活動内容：JIM-NET ハウス運営、医薬品支援、貧困患者支援、
JIM-NET 会議、スタッフ能力向上研修

シリア難民・イラク国内避難民に対する緊急医療支援

事業地：イラク、シリア

対象者：約 500 名

期間：2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日

活動内容：粉ミルク支援、医薬品支援、家族計画支援

バグダード小児がん支援

事業地：イラク・バグダード

対象者：約 600 名

期間：2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日

活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級

バスラ小児がん支援

事業地：イラク・バスラ

対象者：約 1,000 名

期間：2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日

活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級

※「スレイマニア県ヒワ病院内に小児がん総合支援施設建設及び運営に関わる研修事業」を外務省日本 NGO 連携無償資金協力にて実施を計画している。

国内事業

福島支援

福島基金として福島の子どもたちを放射能から守る活動へ助成する。2021 年 7 月 1 日から公募にて、助成先を募る。

サポーター管理・ファンドレイジング

1. サポーター・寄付については、新型コロナウイルスの影響で減少が予想されるが、Coffee for Peace! の準備を整える。
2. サポーター管理ツールの改修を行う。
3. 春募金の実施。

広報・イベント

・広報

HP の内容の更新（インフルエンサーの紹介、過去のキックオフイベント紹介、コーヒー紹介など）

・イベント

キックオフイベントをオンラインで配信と DVD 化を図る。
報告会など各種チャリティイベントの実施。

チョコ募金

1. テーマ：CHOCOLATE for PEACE
2. デザイン：子どもたちが描いた絵を、チョコ缶のデザインとする。
3. 取組個数：14 万個
4. 受付スタート：2021 年 11 月中旬から受付スタート予定。



2020年度決算

※活動計算書

● 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

I．経常収益 (単位：円)	
科目	決算額
受取会費	(正会員受取会費)
	60,000
	(ラナサポーター受取会費)
	3,132,000
	(サポーター受取会費)
	5,680,000
	合計
	8,872,000
受取寄附金	(受取寄付金)
	43,356,634
	(チョコ募金)
	68,767,070
	合計
	112,123,704
受取助成金等	(受取補助金)
	0
	(受取助成金)
	14,300,677
	合計
	14,300,677
事業収益	0
その他収益	(受取講演料等)
	10,000
	(雑収益)
	140,065
	(受取利息)
	1,059
	合計
	151,124
経常収益計	135,447,505

II．経常費用／III．経常外収益／IV．経常外費用 (単位：円)	
科目	決算額
事業費	人件費 (給与手当、通勤費他)
	30,881,813
	プロジェクト物資費 (医薬品等支援)
	44,356,756
	ワークショップ等開催費
	838,007
	旅費交通費
	5,219,697
その他経費	広告宣伝費
	4,255,641
	寄付金原価 (チョコ製造費他)
	17,054,794
	その他費用 (水道光熱費、家賃他)
	12,475,721
事業費計	115,082,429
管理費	人件費 (給与手当、通勤費他)
	9,204,936
	その他経費 (事務所家賃他)
	6,813,743
管理費計	16,018,679
経常費用計	131,101,108
経常外収益計	0
経常外費用計	0
当期正味財産増減額	4,346,397
前期繰越正味財産額	183,753,975
次期繰越正味財産額	188,100,372

※貸借対照表

● 2021 年 3 月 31 日現在

資産の部 (単位：円)		負債の部 (単位：円)	
科目	金額	科目	金額
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	177,600,714	未払金	2,669,357
未収金	12,930,458	未払費用	681,836
貯蔵品	7,185	前受金	0
前渡金	0	預り金	437,982
前払費用	499,021	流動負債合計	3,789,175
流動資産合計	191,037,378	2. 固定負債	
2. 固定資産		負債合計	3,789,175
什器備品	227,209	正味財産の部	(単位：円)
敷金	624,960	科目	
固定資産合計	852,169	福島基金	2,661,992
資産合計	191,889,547	緊急時対応準備金	11,000,000
		一般正味財産額	174,448,380
		正味財産合計	188,100,372

※監査報告書

監査報告書 INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT	
特定非営利活動法人 JIM-NET の 2020 年度決算 (2020 年 4 月 1 日 - 2021 年 3 月 31 日) について、監査の結果、事業は適正に実施され、また活動計算書および貸借対照表は、一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて作成されていることを認める。	
I have audited the financial statement of NPO JIM-NET as of March 2021 and acknowledged that revenue and expenditures for the Fiscal Year 2020 in the activity statement and balance sheet were based on generally accepted accounting principles.	
日付:	2021 年 5 月 28 日
監事:	村山 文彦

2021年度予算

※活動予算書

● 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

I．経常収益 (単位：円)	
科目	予算額
受取会費	(正会員受取会費)
	60,000
	(ラナサポーター受取会費)
	4,000,000
	(サポーター受取会費)
	2,100,000
	合計
	6,160,000
受取寄附金	(受取寄付金)
	47,660,000
	(チョコ募金)
	81,780,000
	合計
	129,440,000
受取助成金等	(受取補助金①日本NGO連携無償資金協力)
	39,614,000
	(受取補助金②その他)
	0
	(受取助成金)
	1,500,000
	合計
	41,114,000
その他収益	合計
	10,000
経常収益計	176,724,000

II．経常費用 (単位：円)	
科目	予算額
事業費	人件費 (給与手当、通勤費他)
	38,977,000
	プロジェクト物資費等 (医薬品等支援)
	39,332,000
	日本NGO連携無償資金協力事業費 (JIM-NET ハウス II 建設関係費)
	39,614,000
	旅費交通費
	7,681,000
その他経費	広告宣伝費
	6,120,000
	寄付金原価 (チョコ製造費他)
	21,315,000
	その他費用 (水道光熱費、家賃他)
	10,574,000
事業費計	163,613,000
管理費	人件費 (給与手当、通勤費他)
	10,309,000
	その他経費 (事務所家賃他)
	8,364,000
管理費計	18,673,000
経常費用計	182,286,000
当期収支差額	▲ 5,562,000

● JIM-NET 参加団体 (50 音順)

【アラブの子どもとなかよくする会】

1991 年の湾岸戦争後からアラブ地域、とくにイラクの子どもたちへの支援活動を開始、1993 年に会を設立されました。
がんの子どもたちへの医療支援のほか、クラフト作り (アフアー・プロジェクト) を通じて患者家族の生活支援を行っています。

【カタログハウス基金】

カタログ雑誌「通販生活」では、信頼できる暮らしの道具を厳選して販売するとともに、戦争や災害に苦しむ子どもたちの救援活動に取り組んでいます。

【子どもの平和と生存のための童話館基金】

童話館グループは、長崎市にある絵本・子どもの本を専門に扱う会社です。
2001 年、童話館の創業 20 周年記念として、「子どもの平和と生存のための童話館基金」が設立されました。

【「サダコ」・虹基金】

原爆の子の像のモデル佐々木禎子さんと同じ病院で過ごした故・大倉記代さんが、絵本『思い出のサダコ』出版をきっかけに
2006 年 3 月に設立した基金です。

【スマイルこどもクリニック】

小児救急施設の不足が深刻な社会問題となる中、2001 年に開院された 24 時間診療の小児クリニックです。イラク難民キャンプでの健康診断、子どもたちの手術費の援助など様々な支援を行っています。

【日本国際ボランティアセンター (JVC)】

1980 年、カンボジアやラオス、ベトナムでたくさんの難民が生まれた際、タイの難民キャンプに駆けつけた日本の若者たちにより誕生しました。現在、アジア、アフリカ、中東で活動しています。

【日本チェルノブイリ連帯基金 (JCF)】

1991 年 1 月、チェルノブイリ原子力発電所事故被災者への医療支援を目的として設立された認定 NPO 法人です。
2004 年からはイラクの小児白血病・小児がんの子どもたちへの支援も行っています。

● ご支援いただいた皆さまの紹介 (敬称略)

◆助成金

日本労働組合総連合会 (愛のカンパ) / 株式会社リコー (社会貢献クラブ・FreeWill) / 株式会社ガハハ (キッフ助成プログラム)

◆ファンドレイジングサービス

TM コミュニケーションサービス株式会社 (お宝エイド) / 株式会社ブギ (古本チャリティ募金) / gooddo 株式会社 (gooddo) / ソフトバンク株式会社 (つながる募金) / 株式会社 STYZ (Syncable) / ピープルポート株式会社 (ZERO PC 想うプロジェクト)

◆ご寄付

誌面の都合上、大口のご寄付をいただいた企業・団体を掲載しております。
ご寄付を賜りましたすべての皆様に、深く感謝申し上げます。

・チョコ募金 (全 10,028 件)

パルシステム生活協同組合連合会 / ピア & カフェ BERG / 自然派くらぶ生活協同組合 / アルソア本社株式会社 / 札幌イラクチョコ募金の会 / 株式会社ボプラ社 / 大王製紙株式会社 / ゴスペルスパークル / 学びい舎英語塾 / 認定 NPO 法人 WE21 ジャパンこうほく / 旭松食品株式会社 / 一般社団法人実践倫理宏正会豊橋北支部 / 子どもの平和と生存のための童話館基金 / 一般社団法人実践倫理宏正会呉支部 / オーエム通商株式会社

・一般寄付 (全 3,323 件)

子どもの平和と生存のための童話館基金 / 株式会社カタログハウス / 生活協同組合パルシステム東京 (平和カンパ) / 公益社団法人毎日新聞大阪社会事業団 / 全国友の会 / 認定 NPO 法人 WE21 ジャパンこうほく / 有限会社エリコ通信社 / NPO 法人 WE21 ジャパン青葉 / The Ancient World / NPO 法人 WE21 ジャパンさかえ / 認定 NPO 法人 WE21 ジャパンよこすか / 学校法人武蔵野学園ひまわり幼稚園 / Each Q 株式会社 / 長野医療生活協同組合在宅総合ステーションながの / 北海商産株式会社 / 公益財団法人社会貢献支援財団

2020 年度年次報告書

2021 年 7 月 30 日発行



JIM-NET
الشبكة الطبية اليابانية العراقية



特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-11 内藤ビル 2C

電話: 03-6228-0746 E-mail: info-jim@jim-net.net

寄付金振込先: ゆうちょ銀行振替口座 00540-2-94945 加入者名 日本イラク医療ネット

他行からのお振込の場合:

預金種目 当座 店名 ○五九店 (○は漢数字のゼロ) 口座番号 0094945

<http://jim-net.org/>

